

令和7年度本宮市立和田小学校経営ビジョン

しらすわCSが目指す子どもの姿

- 他者を思いやる心豊かな子ども
- 学ぶ力を身につけた子ども
- 積極的に運動する子ども
- 考える力、対話する力を身につけた子ども
- 目標達成に向け挑戦する子ども
- ふるさとを盛り上げていく子ども
- 健康及び安全に生活する子ども

令和7年度学校経営基本方針

- 1 授業改善に真摯に取り組み、個別最適な学習と協働的な学習の充実を図る。
- 2 全教育活動でキャリア教育を推進し、基礎的・汎用的能力を育成する。
- 3 保護者、地域と連携を密にし、望ましい学習習慣、生活・安全習慣を育成する。（あいさつを基盤に）
- 4 和田小の伝統、地域の文化を生かし、未来に向かって前進する創造性を育成する。
- 5 人権意識、服務倫理意識を高め、いじめ見逃しゼロ、不祥事ゼロの取組を充実する。

教 育 目 標

- よく考える子ども
- 心豊かな子ども
- たくましい子ども

～ 夢をもち、自他の幸せを考えながら、未来を拓く子ども ～

【第7次福島県総合教育計画】
【本宮市学校教育指導の重点】

「目指す子どもの姿」「自分の可能性を広げ、よりよい未来を創造しようとする子ども」

- 未来を切り拓く資質・能力の育成
- 豊かな人間性や社会性の育成
- 健康な体と運動能力の育成

育てたい子どもの資質・能力

認め合い 学び合う子ども
＜高めたい力＞

- 自分の考えをもつ。 ○説明する。話し合う。
- 目標をもち、努力を続ける。

自分の考えをもち、伝え合う

相手のことを考え、思いやりのある行動をする

めあてに向かって体をきたえる

1 各教科で考えを言葉で表し、伝え合う力の育成

- ・ 言語活動の充実
発達段階に応じたICTの活用
自分の考えを書く時間の確保
学び合いの場の授業への位置づけ
- ・ 基礎・基本の確実な定着
個別指導の充実（音読・くりあがり・九九の定着/AIドリル活用）
国・算単元テスト80点以上（85%）
振り返りの時間の確保（5分）
授業スタンダードの活用・学習の仕方の活用

2 学びを支える学習の基盤作り

- ・ 発達段階に応じた「学び方」「学習規律」の育成
主体的な学習を促す学び方の掲示
主体的に家庭学習に取り組む態度の育成（学年×10分+10分）
- ・ 想像力を育む読書指導
読書時間の確保（学校週2回、家庭1日10分）
多読賞（低:80冊 中50冊 高30冊）の達成40%

1 お互いを思いやり、認め合う態度の育成

- ・ よりよい人間関係、自己肯定感を育てる学級作り
QUの活用、おもいやりの木の実践
情報モラルの指導100%、SOSの出し方教育やSST
いじめを許さないメッセージの発信（「私の宣言」実施 4月/10月）
生活アンケートによる相談・指導（月1回）
教職員による称賛（一人1日1回以上）
- ・ 交流活動の充実
縦割り班活動、隣接学年活動、特別支援交流、幼小交流

2 道徳教育・学級会活動（1）の充実

- ・ 道徳科授業の充実
問題解決的な授業の実践、体験活動との関連
考え議論する時間の確保（10分）
参観日等での道徳の授業の公開（年1回）
- ・ 学級や学校の集団活動に参画する態度の育成
学級活動(1)折り合いをつける話し合い（年3回以上）

1 自己の能力を知り、めあてに向かって努力しようとする態度の育成

- ・ 日常的な体力づくりと各種記録会の実施
フルマラソン、なわとび、外遊びカードの活用
新体力テストの総合評価Cランク以上（65%）
各種記録会達成目標
水 泳 低:5m 中:15m 高:25m 各60%
持 久 走 低:40km 中:60km 高:80km 各80%
なわとび 低:両足1分 中:二重10回 高:二重20回 各80%
逆上がり 低:40% 中:60% 高80%
- ・ 柔軟性、筋持久力、敏捷性の向上
運動身体づくりプログラムの確保（体育で毎時5分以上）

2 心身の健康の保持増進のための生活習慣の習得

- ・ 生活リズムチェックの実施（年7回）
睡眠習慣の定着（就寝→下学年9時前、上学年9時半）
就寝（80%）、夜8時までのメディア使用（80%）
- ・ 養護教諭、栄養技師、歯科衛生士等とのTT授業の実施（2回以上）
う歯の治療（90%）

社 会 に 開 か れ た 教 育 課 程

キャリア教育の充実

すべての教育活動において、キャリア教育推進のための基盤となる4つの能力の育成を図る
☆人間関係形成・社会形成能力 ☆自己理解・自己管理能力
☆課題対応能力 ☆キャリアプランニング能力

コミュニティスクールの機能の活用

☆効果的な教育課程の編成 ☆各種行事等の計画や調整

1 地域を知り、良さや課題に気づき、自分ができることを行う教育活動の展開

- ・ 体験的な学習を推進します。 ・地域人材を活用します。（米、どろいもづくり）
- ・ 地域のために行動します。（ふるさとのためにできることを行う 2時間以上）

2 地域とつながる学校づくり

- ・ 地域との連携、協働により「社会に開かれた教育課程」を推進します。
（PTA、学校運営協議会、和田地域づくり振興会、社会福祉協議会、和田幼稚園、等）

主な達成基準例

- ①県・全国学力調査（県平均点+ α ）
- ②研究授業の実施（年1回以上）

主な達成基準例

- ①いじめ見逃し0
- ②QUアンケート満足度群（80%以上）
- ③道徳参観授業の実施

主な達成基準例

- ①新体力テスト（前年度+1%）
- ②う歯治療率（90%以上）
- ③肥満出現率（12%以下）